

元興寺文化財研究所協力講座

2025年度前期(4月～9月)

〈元興寺文化財研究所のご案内〉

元興寺文化財研究所は、元興寺で発見された類例を見ない「中世庶民信仰資料」の整理と性格究明、保存を目的として設置された調査室を前身としています。1961年には国内初の近代的手法による出土木製品の保存処理を実施するなど、半世紀以上にわたって民間唯一の総合的な文化財研究機関として指定文化財や身近な民俗資料など日本各地の様々な文化財の保存・修復や調査研究を手掛け、文化財保存の先陣を切ってきました。

2016年には各種文化財の調査・保存・修復・科学分析を一手に担う「文化財の総合病院」として総合文化財センターを開設し、X線CTなどの最新機器の導入による新たな技術開発や、文化財の保護と普及にも取り組んでいます。



〒630-8304 奈良市南肘塚町146-1 TEL:0742-23-1376 FAX:0742-27-1179 <https://www.gangoji.or.jp/>



文化財調査☆最前線

考古・民俗資料から探るモノづくりの日本文化史

元興寺文化財研究所は、元興寺で発見された仏教民俗資料を研究し保存処理するために創設され、以来半世紀にわたって日本各地の諸種の文化財の調査や修復を行っています。本講座では、研究所・各研究員が手掛けた調査・研究の最新成果を分かりやすく解説します。

日時	テーマ
4月8日(火) 13:30～15:00	古代寺院のモノづくり
5月13日(火) 13:30～15:00	考古学からみた螺鈿細工 —沖縄・奄美の発掘調査から—
6月10日(火) 13:30～15:00	平安時代の色をさぐる —陶磁器を中心に—
7月8日(火) 13:30～15:00	「石」にまつわる“モノづくり”—機械化以前の技術と職人—
7月29日(火) 13:30～15:00	モノづくりの”妙”を探る —宮本常一収集民具等の科学分析から—
9月9日(火) 13:30～15:00	災害が起こると文化財はようになるか? —被災とその後—

【講師】 元興寺文化財研究所研究員

【会場】 近鉄文化サロン阿倍野

【受講料】 各1回 2,530円 ※7月29日(火)は休業日のため、当日の入金はできません。事前またはWEBでの入金をお願いします。

※価格は、消費税を含んだ税込価格を表示しています。

4/8
(火)

古代寺院のモノづくり

飛鳥寺を嚆矢に始まった日本での寺院建築。寺院の建築では建物の躯体となる木以外にも多種多様な材料が必要とされます。本講では寺院建築に関わる様々なモノの製作に注目し、古代寺院をモノづくりの視点から解き明かします。

【講師】 村田裕介 【時間】 13:30~15:00 【受講料】 2,530円



奈良県橿原市石川廃寺出土の
鋳型・鉄滓など

5/13
(火)

考古学からみた螺鈿細工 —沖縄・奄美の発掘調査から—

古くから人々を魅了する正倉院宝物などの螺鈿細工は、沖縄・奄美の海で生息するヤコウガイなどの貝殻が素材とされています。近年の沖縄・奄美の発掘調査成果からヤコウガイの採取や螺鈿製作について考えてみたいと思います。

【講師】 瀬戸哲也 【時間】 13:30~15:00 【受講料】 2,530円



首里城跡出土ヤコウガイ貝殻

6/10
(火)

平安時代の色をさぐる —陶磁器を中心に—

平安時代は装束を始めとして色彩が豊かに意識された時代で、源氏物語や枕草子でもしばしば触られています。この時期の陶磁器である緑釉陶器や土師器、青磁にも注目し、客観的な測定・分析方法もご紹介しつつ、平安時代の色の変化について探ります。

【講師】 田中由理 【時間】 13:30~15:00 【受講料】 2,530円



紅梅 桜
菖蒲 撫子
かさね色の例
(表の色を透かした場合)

7/8
(火)

「石」にまつわる“モノづくり” —機械化以前の技術と職人—

身近にある「石」は、様々な加工を施されることによって人間の社会や生活、文化に落とし込まれています。機械が導入される以前の「石」にまつわる技術や職人について、考古資料・民俗資料の双方の分析から実態を探っていきます。

【講師】 坂本俊 【時間】 13:30~15:00 【受講料】 2,530円



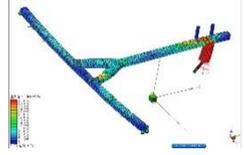
生駒山花崗岩の石工用具

7/29
(火)

モノづくりの“妙”を探る —宮本常一収集民具等の科学分析から—

本講では、民具研究の第一人者である宮本常一が収集した民具などを対象として、当時の道具が、現在の科学の目で見て「上手に」作られていたことを明らかにし、これまでの聞き取り調査では現れてこなかったものづくりの“妙”を読み解きます。

【講師】 桃井宏和 【時間】 13:30~15:00 【受講料】 2,530円



靱摺り臼やり木の応力解析

9/9
(火)

災害が起こると文化財はどうなるか？ —被災とその後—

2024年は当研究所で伝世資料(民俗文化財等)の修復が始まって50年の節目の年でした。この半世紀の間には阪神・淡路大震災や東日本大震災、近年では能登半島地震などの大きな災害がありました。発災すると文化財はどのように破損し、その後どうなるのか？ 長年調査・修復に携わってきた者が解説します。

【講師】 雨森久晃 【時間】 13:30~15:00 【受講料】 2,530円



東日本大震災後の陸前高田市立博物館2階
展示室・漁具展示部分(陸前高田市立博物館提供)

WEBでご予約から入金までできるようになりました

お問合せ・お申込みは 近鉄文化サロン阿倍野

(06) 6625-1771



【受講のお申込みは】

- 事前にご予約のうえ、実施日の5日前までにご入会手続きをお済ませください。
- 近鉄文化サロンホームページからご入会・ご入金いただけます。
- ※入会金無料で会員登録でき、会員価格でご受講いただけます。
- 各講座とも満員になり次第締め切らせていただきます。
- ※ただし、一定の人数に満たない場合は、講座を中止させていただきますことをごまいます。

〒545-0052 大阪市阿倍野区阿倍野筋2-1-40 and4階
【受付時間】10:00~19:00
(日曜日10:00~16:00)

※休業日: 3/30(日)、3/31(月)、4/29(火)~5/5(月)、
7/29(火)、8/11(月)~8/15(金)、8/30(土)、
8/31(日)は、受付業務を休ませていただきます。



※各講座とも、開催場所は近鉄文化サロン阿倍野です。

※価格は、消費税を含んだ税込価格を表示しています。